

<同時発表>

- ・総合政策局公共事業企画調整課
- ・大臣官房公共事業調査室

平成30年1月29日

九州地方整備局

手づくり郷土賞<sup>ふるさと</sup>グランプリ2017  
球磨川ツクシイバラの会が“ベストプレゼン賞”を受賞！

■手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくりの活動を広く紹介することにより、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が各地で推進されることを目的として、「手づくり郷土賞グランプリ2017 ～磨いて 光った郷土ふるさと自慢～」が開催されました。

- ◇ 日時：平成30年1月28日(日)
- ◇ 場所：発明会館地下ホール（東京都）

■グランプリ2017では、平成29年度手づくり郷土賞の選定団体全19団体がプレゼンテーションを行い、選定委員会の選考により、大賞部門、一般部門のそれぞれの“グランプリ”が決定されました。

■また、全てのプレゼンテーションの中から参加者の投票により、**熊本県錦町の球磨川ツクシイバラの会が“ベストプレゼン賞”を受賞しました。**

○グランプリ 2017（大賞部門）

案件名：万代中央ふ頭（音楽が紡ぐ港の魅力発信）

団体名：特定非営利活動法人アクア・チッタ／徳島県徳島市

○グランプリ 2017（一般部門）

案件名：かのがわ風のテラス

団体名：沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会／静岡県沼津市

○ベストプレゼン賞 2017

案件名：球磨川のほとりに咲くツクシイバラ～100年後の人々に届けたい～

団体名：球磨川ツクシイバラの会／熊本県錦町

※グランプリの開催結果は、別添資料をご参照ください。

【参考】

平成29年度手づくり郷土賞の選定結果は以下のURLをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000178.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000178.html)

<問い合わせ先>

九州地方整備局 企画部企画課

課長補佐 渡辺 祐二（内線：3155）

TEL：092-471-6331（代表）、092-476-3542（直通）

# 手づくり郷土賞グランプリ2017の開催結果①

手づくり郷土賞グランプリ2017では、平成29年度手づくり郷土賞を受賞した全19団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、大賞部門、一般部門それぞれのグランプリを決定しました。

また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

## （概要）

- 日時 平成30年1月28日(日)12時30分～15時40分  
場所 発明会館 地下ホール（東京都港区虎ノ門2-9-14）  
内容 1)平成29年度「手づくり郷土賞」選定団体による活動プレゼンテーション(19団体)  
2)グランプリ(大賞部門、一般部門)の発表、講評  
参加者 約180人(参加団体、一般参加者等)

## 【平成29年度手づくり郷土賞選定委員会】

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長

## 齋藤委員長による開会挨拶



## グランプリの様子



## 受賞団体からの感想



### ■グランプリ2017(大賞部門)

特定非営利活動法人アクア・チッタ／徳島県

熱い思いをもって地域づくりに取り組んでいる方々が多くおられる中でグランプリを受賞できてうれしいです。自分たちの活動の特徴は皆楽しんで活動をしていること。だから継続できている。これからも活動の幅を広げていきたい。



### ■グランプリ2017(一般部門)

沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会

沼津を訪れる観光客に立ち寄っていただき、地域を盛り上げたいという思いだけで活動を推進してきた。そのことが評価されたことはとても励みになる。まだまだこれからの取り組みであり、引き続き頑張りたい。



### ■ベストプレゼン賞2017

球磨川ツクシイバラの会／錦町

ツクシイバラの花がきれいに咲くよう、また訪れた人が優しい気持ちになってもらえるよう清掃活動等を行ってきた。同じく活動してきた仲間と一緒にこのような賞を受賞できてうれしいです。



## グランプリ2017(大賞部門)：特定非営利活動法人アクア・チッタ／徳島県

(徳島県・徳島市)

### 万代中央ふ頭(音楽が紡ぐ港の魅力発信)

人気も少なく近寄りやすい雰囲気であった倉庫街を、水辺の魅力を活かし、人が集い、交流が生まれる「港にぎわい空間」に再生しようと、清掃活動や水産市などの各種集客イベントの開催、まちづくりマスタープランの作成など様々な取組を行っている。当初は1日限りの開催であった水産市「アクア・チッタフェスタ」は、平成27年より2日間開催となり、平成28年には1万3千人を超える来場者となっている。地域の環境が快適に保たれた結果、付近の住民が散策したり、学生が景色を眺めたりする姿も多く見られるようになった。



水産市  
「アクア・チッタフェスタ」



まちづくりビジョン策定  
ワークショップ

## グランプリ2017(一般部門)：沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会

(静岡県・沼津市)

### かのがわ風のテラス

沼津市市街地を流れる狩野川の右岸上土町周辺は、市と国で親水空間として利用されている。平成26年より河川許可準則の緩和を機に、水辺の空間の利活用方法を模索し、協議会方式で、オープンカフェ、パフォーマーによる水辺のステージ、BBQ、地元イベント等を実施し、年間3.8万人が利用している。狩野川の四季折々の風・川のオープンスペースを感じながら楽しむことが出来る空間となっている。日常的な河川空間の利用促進のため、河川を向いた事業者を増やしていくため、利用しやすい環境づくりを進めていき、まちなかと河川空間が一体となった取り組みを進めていく。



かのがわ風のテラスでの  
地元催事



沼津自慢フェスタ2017

## ベストプレゼン賞2017：球磨川ツクシイバラの会／錦町

(熊本県・錦町)

### 球磨川のほとりに咲くツクシイバラ ～100年後の人々に届けたい～

平成18年3月より「100年後の人々にこのヘリテージローズ自生地を引き継ぎたい」という想いから「ツクシイバラ」の保護活動を始め、5月中旬の開花時期に向け、年明けから清掃活動や除草作業を行い、開花中はコンサート・スケッチ大会、他団体と連携したスポーツイベントを開催し、訪れた1,700人を超える人へ、ツクシイバラの保護活動の啓発を地道に行っている。活動により自生地の町花がツクシイバラに変更され、近くの駅の副名が「ツクシイバラの里」と命名され、自然環境をPRした町づくりにも繋がっている。



ツクシイバラ公式発見記念  
100周年コンサート



ツクシイバラスケッチ大会